湯浅えき蔵図書館 きてみて！

YUASA EKIKURA LIBRARY

利用案内

■開館時間：9時～21時
■休 館 日：20日㊎
■お問合せ：湯浅町立図書館 TEL62-2280

新着図書のご案内

児童書 一般書

『世界の隠れた図書館』



D.C.ヘルムート／創元社

馬の移動図書館、自動販売機型図書館、電話ボックス図書館…。日本を含む世界各地のユニークな50の図書館を取り上げ、それぞれの目的、地域住民との関わり、常駐している図書館員の体験談を、美しい写真とともに紹介する。

『わんぱくだんのカレーおうこく』

末崎茂樹／ひさかたチャイルド

［対象：0歳～小学2年生］



公園で大好きなカレーの話をしていたわんぱくだん。「ぼくたち、「カレーわんぱくだん」だー!」と言ったとたん、ふしぎな煙に包まれ、気づけば、カレー王国にいて…。わんぱくだんシリーズ第29弾。

『図解でよくわかる菌ちゃん農法』

吉田俊道／家の光協会



土の中の糸状菌を活用する「菌ちゃん農法」で作られた野菜は、農薬・肥料不使用なのに虫を寄せ付けない。そんな菌ちゃん農法の土づくり・野菜づくりのコツを、豊富な写真とイラストで徹底的に紹介する。内容をアップデート。

『いのちをつなぐ老犬ホーム』

高橋うらら／岩崎書店

［対象：小学3～6年生］



老犬ホーム・ペットホテルの「ゆるやか」は、年をとった犬たちが、くらして介護を受けられる施設。看板犬うーちゃんは18歳！介護や看取りを通して、犬たちの幸せな老後を考える。

『南方熊楠、動物を語る。』松居竜五／岩波書店
『ストーリーランド』石川智健／徳間書店
『海町、古書店ものがたり』浅倉卓弥／ハーパーコリンズ・ジャパン
『慶応四年、江戸炎上』神尾水無子／集英社　など

『てんてんぐもがやってくる！』中川貴雄／フレーベル館
『もしもの日本史』加来耕三／ポプラ社
『その本、発禁処分トスル』村上しいこ／さ・え・ら書房
『ふでばこじいさん』もとしたいづみ／光村図書出版　など

＊その他新着図書は、図書館ホームページの「新着資料検索」からご覧いただけます。
＊おはなし会（こども向け）は11月14日㊏です！
＊**27日㊎は通常開館となります。**

えき蔵図書館公式X
（@ekikuratoshokan）

湯浅氏と湯浅町

第三回　第二章　湯浅氏の全盛期

湯浅宗永は「藤原」姓を使っているところから、その系譜に繋がるものと推察できるが、湯浅在住より「湯浅」の地名を姓とするようになったと思われる。しかし詳細は不明である。

そして湯浅宗氷の子といわれる湯浅宗重は事実上、湯浅氏の開祖であり、同家に盛運をもたらしたのである。

宗重在位の頃は、あたかも源平争覇の只中でもあった。

即ち、平治元年（一一五九）平治の乱が起る。この一乱は、平清盛が熊野詣のため紀州に下向した留守を見越して、京都で藤原信頼・源義朝が挙兵。その際、宗重は清盛を励まし、田辺の熊野別当湛増より兵二十駒を用立ててもらい、宗重自身は兵三十騎の手勢を率いて、清盛の護衛にあたり、京へと登った。その清盛方の迅速な処置によって勝利を得たのである。翌永暦元年には、比叡山の僧兵が坂本（滋賀県大津市）に立籠り合戦になろうとした時、清盛は平定の院宣を蒙り、これの鎮圧の大将に宗重を任命し、畿内近国の武士三千騎を率いて戦わせた。

こうして宗重は中央の政争の表舞台に登場するまでになる。

また紀伊にあっても、平家の重要な御家人として名が挙がり、湯浅も名邑（めいゆう）として知られるようになる。

しかし、この平氏も清盛没後の文治元年（一一八五）屋島の戦に敗れ、滅びの一途を辿る。この時平家の一門、重盛の子息丹後侍従忠房が湯浅氏を頼って逃亡してくる。宗重はこれに五百騎をつけ防戦するが、文覚（宗重の子の上覚の師・明恵の師でもある）の仲介により鉾を納める。

全文は町ホームページに掲載しています▼